



退職金  
専用プラン

# とやま セカンドステージ プラス

目的にあわせて上手に貯え、  
ゆとりあるセカンドライフを

## 楽しみふやしましょ

永い間お勤めごろうさまでした。  
さて、退職金を手にしてから、どうしようかとお考えのあなた…。  
これから始まるセカンドライフを、より良く過ごしていただくために  
富山銀行からのご提案プランです。お気軽にご相談ください。



## 定期預金応援プラン

お取扱期間 | 平成28年3月31日(木)まで

### 商品概要

#### 対象となる方

次の2つの条件を満たす方とさせていただきます。

- 1 退職金の受取から1年以内に、ご本人の退職金を原資に新規で定期預金をお預け入れの方。
- 2 「退職所得の源泉徴収票」「振込等により退職金の確認ができる書類」のいずれかをご提示いただける方。

#### 適用利率

通常利率 年**0.50%**(税引後 年0.398%)

特別  
利率

年金受取または年金予約をお申込みいただいた場合  
お預入期間3ヶ月 年**1.00%**(税引後 年0.796%)

※上記税引後利率は復興特別所得税の課税を考慮した20.315%(国税15.315%、地方税5%)で計算しています。なお、税引後の利率は目安であり、小数点第4位以下を切り捨てて表示しています。

#### お預入期間

3ヶ月

#### お預入金額

200万円以上(1円単位) ※ご本人の退職金の受取額を上限といたします。

#### 中途解約利率

ご都合により中途解約された場合は、解約日の普通預金利率を適用いたします。

#### その他

- この上乗せ金利は、新規お預け入れ時、1回のみのお取扱いといたします。
- 自動継続扱いの場合、継続後の利率は、継続日におけるスーパー定期の店頭表示金利とさせていただきます。
- 店頭にご商品概要説明書をご用意しております。また、インターネット上のホームページでもご覧いただけます。

詳しくは、富山銀行本支店窓口までお問い合わせください。

富山銀行で  
はじめよう

# ジュニアNISA、ただいまお申込み受付中!

※平成28年4月より投資可能

## 新しくスタートしたジュニアNISAのこと教えて!

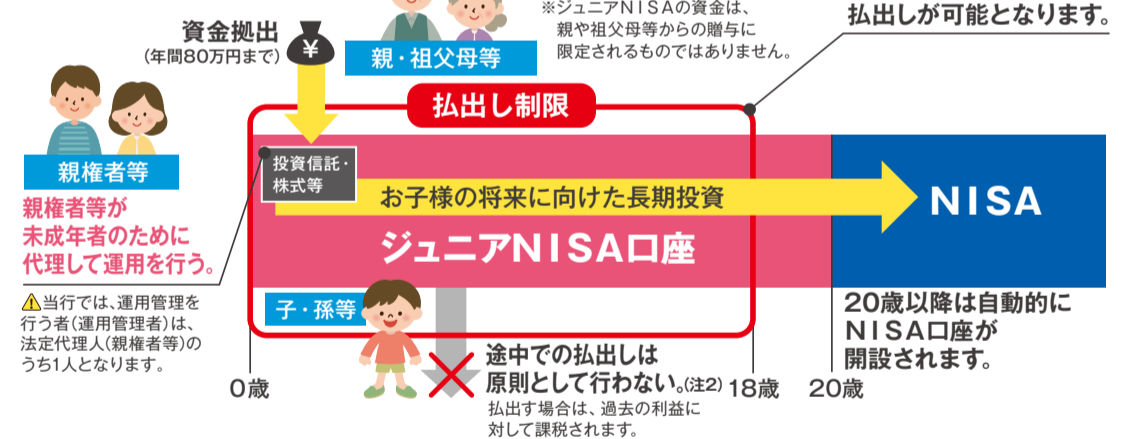
ジュニアNISAはこのようなニーズの方に  
お役立ていただけます。



かわいい  
お子様、お孫様の  
将来の資金づくりに

相続対策に

### ジュニアNISAのイメージ



#### ●投資可能期間

平成28年4月から平成35年まで  
※平成35年末以降、当初の非課税期間(5年間)の満了を迎えても一定の金額までは、20歳になるまで引き続き非課税で保有できます。

#### ●運用管理

原則として、親権者等が未成年者のために代理して運用を行う。  
18歳(注1)までは原則として払出しを行わない(注2)  
(注1) 3月31日時点で18歳である年の1月1日以降(例:高校3年生の1月以降)  
(注2) 災害等やむを得ない場合には、非課税での払出しが可能

## ジュニアNISA 6つのポイント

- 1 子どもの将来に向けた資産運用のための制度
- 2 日本に住む0~19歳の未成年者が口座開設できます(親権者等が代理で資産運用を行うことができます)
- 3 投資上限額は、毎年80万円まで(5年間で最大400万円)
- 4 非課税期間はNISAと同じ、投資した年から5年間
- 5 投資額からの収益(売却益・配当等)はもちろん非課税
- 6 20歳以降は自動的にNISA口座が開設されます

### ジュニアNISAに関する注意点(必ずお読みください)

- 口座開設者が18歳(注1)になるまでに、ジュニアNISA口座から払出しを行う場合は、過去の利益に対して課税され、ジュニアNISA口座を廃止することになります。(注2)
- ジュニアNISA口座開設後は、金融機関の変更ができません。(廃止後の再開は可能です。)
- ジュニアNISA口座において投資できる金融商品や受けられるサービスは各金融機関によって異なりますので、ジュニアNISA口座申込みの際の金融機関の選択に当たってはよくご確認ください。
- 収益(売却益・配当等)が発生しても非課税となりますが、損失が発生してもその損失はないものとみなされます。(損益通算や損失の繰越控除はできません。)
- ジュニアNISA口座は、1人1口座。

### ▼投資信託に関する留意点(必ずお読みください)

- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等によります。したがって、元本および分配金が保証されている商品ではありません。主なリスクには以下のものがあります。(金利変動リスク)金利が上昇した場合に債券価格が下落し、基準価額が下落するリスクです。(価格変動リスク)ファンドに組み入れられた株式や債券などの価格の変動の影響で基準価額が下落するリスクです。(為替変動リスク)外貨建資産について、当該通貨の外国為替相場が円高になった場合に基準価額が下落するリスクです。(信用リスク)株式や債券の発行体の経営に直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合にファンドにも重大な損失が生じるリスクです。(流動性リスク)市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合等にファンドの組入銘柄を売却する際、期待価格での売却ができず、不測の損失を被るリスクです。詳しくは各ファンドの目論見書および目論見書補完書面等をご確認ください。

- 投資信託のお申込時にはお申込手数料、ならびに運用期間中には信託報酬等がかかります。また、換金に際して信託財産留保額などのコストがかかるものがあります。※ファンド毎に手数料等は異なりますので、各ファンドの目論見書および目論見書補完書面等をご覧ください。●投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入されたお客様に帰属いたします。●富山銀行でご購入された投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。●富山銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資会社が行います。●投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。●投資信託をご購入の際は、目論見書および目論見書補完書面等により、必ず商品内容や留意事項を十分ご理解のうえ、ご自身のご判断でお申込みください。●目論見書および目論見書補完書面等は当行本支店にご用意しております。

[商号等]株式会社富山銀行(登録金融機関)登録番号 北陸財務局長(登金)第1号  
[加入協会]日本証券業協会

詳しくは、富山銀行本支店窓口までお問い合わせください。

(平成28年2月1日現在)